



卒業証書授与式

2月28日(水)、第41回

卒業証書授与式が行われました。天候が心配でしたが、当日の朝は寒さも和らいで時折晴れ間がのぞき、41回生の門出を祝福してくれているようでした。

厳粛な雰囲気の中、卒業生が入場し、厳かに式が始まりました。

卒業証書授与では、担任からの呼名に、卒業生一人ひとりが3年間の思いを込めて大きな返事で応えていました。総代として、藤原拓哉君が、卒業証書を受け取りました。

このあと、校長先生をはじめ、来賓の方々から、お祝いや激励のメッセージ



を頂きました。

在校生の送辞では、現生徒会長の長谷川彩人君が部活動や学校行事などでの卒業生との思い出や感謝の言葉、そして神崎高校の次を受け継ぐ者としての決意を述べました。

卒業生を代表して、前生徒会長堀田蘭さんが答辞を読みました。3年間を振り返り、41回生や先生方への思い出や保護者の方々の抱負を述べました。

最後に、式歌や校歌斉唱で、会場全体は大きな感動に包まれました。在校生は先輩を送り出すために、卒業生は自ら門出を飾るために、むせびながらも歌った校歌は、卒業生にとって一生忘れられない校歌となったことでしょう。



退場では、学年の先生

へ、卒業生が「ありがとうございます」と言って退場していききました。涙ぐみながら退場する者、笑顔で退場する者がいました。その退場する姿は、堂々としており、立派に神崎高校の名を背負って、社会へと羽ばたいてくれることと思います。

式後は、各クラスで最後のLHRが行われました。卒業証書を担任の先生方から渡され、担任の先生方からはなむけの言葉は卒業生たちにとって一生の宝物となることでしょう。

41回生の皆さんの今後の更なる飛躍を祈っております。



特色選抜

2月15日(木)、春の

兆しが感じられる中、特色選抜が実施されました。本校入学を目指した14名の受検者が、緊張した面持ちで、小論文と面接に挑みました。

2月20日(火)午後、合格者が発表され、12名の中学生に一足早い春がやって来ました。発表の瞬間大きな歓声が沸き、受験番号や喜びの瞬間を撮影する受検者やご家族の姿が見られました。

4月には希望に胸を膨らませて神崎高校に入学することでしょう。一方で悔し涙を流した受検者は、諦めずに神崎高校に再度挑戦して欲しいと思います。



ちょっと一言 ◇第41回卒業証書授与式が、非常に厳粛かつ実に心温まる雰囲気の中で行われたことを教職員や生徒諸君と共に喜びたいと思います。式典の主人公である卒業生諸君は勿論のこと、在校生諸君の態度が素晴らしかったと、多数お越しのご来賓の皆様方からもお褒めのお言葉を頂きました。「神高生」としての覚悟や思いが、確実に後輩へと受け継がれていることを心から嬉しく思っています。お忙しい中お越し頂きましたご来賓の皆様方、本当にありがとうございました。(H. H.)